

プール事故問題

再発防止などを求め

全会一致で「決議」可決

平成18年第3回ふじみ野市議会定例会は、8月31日から9月21日までの22日間開催され、開会日の冒頭に大井プール事故で亡くなられた戸丸瑛梨香さんに対し、一分間の黙祷を捧げました。

この定例会では、市長から平成18年度一般会計ほか特別会計補正予算5件、事故直後に実施された市内九、六〇八カ所の安全点検の結果をもとにした市内の公共施設等の緊急総点検関係の追加補正予算1件、条例8件、平成17年度決算7件など議案31件、議員から意見書4件、決議1件が提出されました。

慎重な審議の結果、市長提出議案はすべて原案のとおり可決・認定・同意され、議員提出議案の「大井プール事故に対する徹底した事故原因の究明と再発防止を求める」決議は全会一致で可決、意見書のうち3件は否決、1件は審議が中断し午前零時を過ぎ会期切れとなったため、審議未了となりました。

また、一般質問は24名が行ないました。

市営プール事故後のふじみ野市議会は、九月議会開会日に、「大井プール事故に対する徹底した事故原因の究明と再発防止を求める決議」を全会一致で可決しました。また、行政のチェック機能として、総括質疑や一般質問でもプール事故問題を取り上げ、市の姿勢をただしました。



決議文を読み上げる議員

大井プール事故に対する徹底した事故原因の究明と再発防止を求める決議

去る7月31日ふじみ野市大井プールにおいて、流れるプールの吸水口に吸い込まれ幼い尊い命が失われるという悲惨な事故が発生した。亡くなられた戸丸瑛梨香さんのご冥福をお祈りするとともにご遺族の方々に深く哀悼の意を表するものです。

市営プールという公共施設は、幼児から大人まで年齢や性別にかかわらず、不特定多数の方々が夏のひと時を楽しく過ごすレジャー施設である。それゆえ利用者には一にも二にも高い規範に基づいて、安全確保がされている施設であるという深い信頼の上に安心して利用しているものである。

しかしながら、今回の事故はこれら利用者の思いを裏切り、尊い人命が失われたという絶対にあってはならない事故であり、議会としても極めて心痛な思いである。市民に対し公共施設の安全・安心といった信頼性を根底から失墜させた極めて残念な事故であると重く受け止めている。何故このような事故が発生したのか、市は施設の構造、管理体制などあらゆる角度から事故原因を徹底的に究明し、早期に明らかにすべきである。そして、幼い尊い命が失われた事故の教訓を生かし、二度とこのような痛ましい事故が起きないように再発防止に向けて、全市を挙げて取り組むよう強く要望する。

併せて、市内全ての公共施設の安全管理体制の強化を含めた安全確認の総点検と全職員の危機管理意識の高揚を求めるものである。

以上、決議する。

平成18年8月31日

ふじみ野市議会

議案に対する総括質疑

財政調整基金と財政運営

問 現在の財政調整基金残高は今補正予算後で一億一、六八五万六、〇〇〇円となり、平成十九年度の予算編成を見据えた場合、非常に厳しい財政状況であると考えます。今後の財政運営の取り組みは、

答 現在の財政調整基金残高は四億円程度と試算。平成十九年度の予算編成では、新規事業を実施しなくても、二四億円程度の財源不足が見込まれます。財政調整基金や各種目的基金、未利用市有地の処分、退職手当債の活用をしても一三億円ほどの財源が

不足する見通しです。予算編成を前に事務事業の見直しを進めています。歳入・歳出すべてにわたり抜本的見直しが必要です。

問 障がい者福祉サービス 十月一日から新たに「障害者地域生活支援事業」が始まる。その内容と取り組みは、

答 自立支援給付とともに、障害者・障害児がその能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活ができるような地域社会の実現に向け、市が事業主体となり自主的に取り組む事業であります。

自由民主クラブ 神木洋寿

※退職手当とは？

退職職員への退職手当に充てる地方債のこと。退職職員が多く、例年を上回る部分について発行できる。